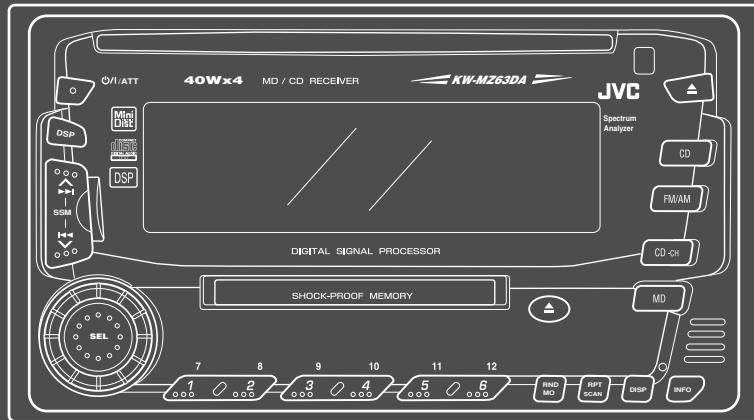


取扱説明書

JVC

KW-MZ63DA

MD/CDレシーバー



– お買い上げありがとうございます –

ご使用の前にこの「**取扱説明書**」と「**取付説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
その後保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

目次

●主な特長	2
●安全上のご注意	3～7
●各部の名前と働き	8～13
●リモコン(RM-RK36:別売り)の使いかた	14～15
●時計の合わせかた	16～17
●音量・音質の調節	18～19
●DSPの使いかた	20～21
●スペアナとして使うには	22
●表示窓のモードを変えるには	23
●MDを聞く	24～27
●CDを聞く	28～30
●ラジオを聞く	31～34
●CDテキストについて	34
●CDチェンジャーのCDを聞く	35～37
●他の機器の音を聞く	38～39
●MD/CDの盗難防止について	39
●テレホンミューティングについて	40
●表示窓の明るさ／コントラストを変える	41
●CDの名前や放送局名などを表示させる	42～49
●文字配列表	49
●正しくお使いいただくために	50
●保証書とアフターサービス	51
●こんなときは	52～53
●主な仕様	54～55
●お手入れ	裏表紙

主な特長

- 2 DINサイズのMD/CDレシーバー
 - ・ダイレクト選曲
 - ・ランダム演奏/リピート演奏
 - ・8セんチCD対応(アダプターなしでダイレクトイン)
 - ・CDテキスト対応
 - ・ショックブルーフメモリー(音飛びガードメモリー)：MD
- ダイレクトソース(音源)切換
 - ・ラジオやMD/CD、CDチェンジャーなどの演奏がワンタッチでスタート(電源を入れることも可能)
- 40W×4ハイパワーアンプ内蔵
ストレガテックジャパン
- SSM搭載チューナー
 - ・SSMによる放送局のメモリーが可能
 - ・24局プリセット(FM→6×2局、AM→6×2局)
インフォメーション
 - ・交通情報が聞けるINFOボタン
- チェンジャーコントロール機能
 - ・12枚CDチェンジャー(CDテキスト対応のCH-X1200など)
- リアルなライブ音場を再現する7モードDSP(デジタル・シグナル・プロセッサー)搭載
- テレホンミューティング機能
 - ・別売りのハンズフリーシステム：TF-HF5M使用
- 放送局名やディスク名・曲名を表示(カナ・英数字)
- マルチ電子コントロール(音量・音質)
リンク
 - ・DSP LINK機能
- ライン出力端子×2系統(RCAピン)
- リモコン対応(RM-RK36：別売り)

安全上のご注意

ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。

これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、障害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



感電



指をはまれ
ないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



一般的指示



水ぬれ禁止

安全上のご注意(つづき) ーはじめにお読みくださいー

!**警告**

■本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。

■配線作業中は、バッテリーの \ominus 端子を外してください。



- ・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

■本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取付けないでください。

- ・交通事故やけがの原因となります。



■車体に穴を開けて取付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行ってください。



- ・交通事故や火災の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用して本機を取付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



- ・これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



- ・事故の原因となります。

警告

■コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

■電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

■本機を分解したり、改造しないでください。



- ・事故・火災・感電の原因となります。

分解禁止

■自動車を運転中に音量調節等の操作をしないでください。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

■音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。

- ・事故・火災・感電の原因となります。



■ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

■万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



- ・そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

■事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

安全上のご注意(つづき) ーはじめにお読みくださいー

⚠ 注意

■本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。



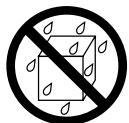
- ・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

■必ず付属の部品を指定通り使用してください。



- ・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

■雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取付は避けてください。



- ・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

■振動の多いところなど、しっかり固定できないところへの取付は避けてください。



- ・外れて事故やけがの原因となることがあります。

■本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■本機を不安定なところに取付けないでください。



- ・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

■正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



- ・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。

■車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意してください。



- ・断線やショートにより、事故・感電・火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

■ ディスク挿入口に異物を入れないでください。



- ・火災や感電の原因となることがあります。

■ ディスク挿入口に手や指を入れないでください。



- ・けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

■ 本機を車載用として以外は使用しないでください。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

■ 指定の電池以外は使用しないでください。



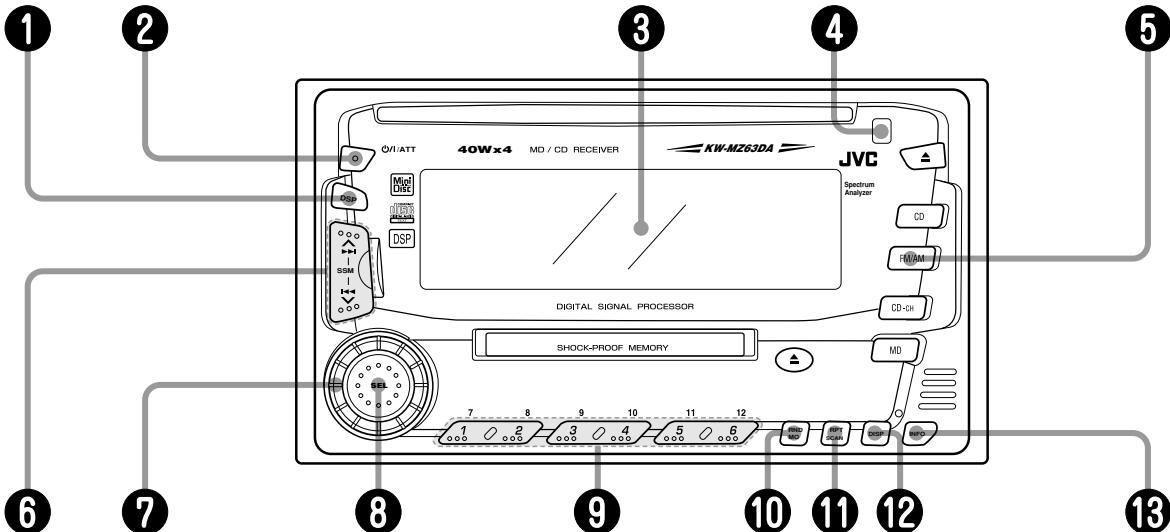
- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

■ 電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス \oplus とマイナス \ominus)に注意し、内部の表示通りに入れてください。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

各部の名前と働き(1) — 共通部分およびラジオを聞くときの働きです。—



① DSPボタン：共通

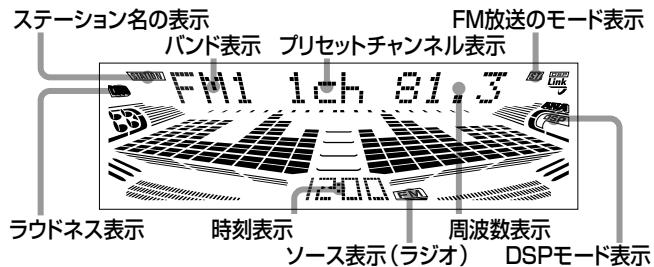
DSPまたはスペアナ*のモードにするとき使います。

*スペアナ(スペクトラムアナライザーの略)
ソースの音の周波数成分の分布を表示してくれます。

② P/I(電源)/ATTボタン：共通

電源の「オン」→「オフ」や音量を一時的に下げることができます。→⑯ページ参照

③ 表示窓(ラジオのとき)



・バンド表示や周波数表示などの部分を文字表示部といいます。

④ リモコン受光部：共通

別売りのリモコン(RM-RK36)の信号をここで受信します。
→⑯ページ参照

⑤ FM/AMボタン

ソース(音源)を「ラジオ」にしたり、FMとAMの聞きたいバンドを選ふとき使います。→⑩ページ参照
電源を入れることもできます。
押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2→FM1…と順に変わります。

⑥ 選局ボタン(▽、△)/SSMボタン

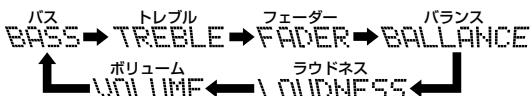
放送局を選局するとき使います。→⑪ページ参照
▽と△ボタンの中央を2秒以上押すと、電波状態の良い放送局を、自動的にプリセットボタンにメモリーすることができます(SSM)。→⑫ページ参照

⑦ ジョグダイヤル：共通

電子ボリュームのレベルが調節できます。→⑭ページ参照

⑧ SELボタン：共通

音量・音質調節のモードが選べます。押すごとに



と変わります。→⑯ページ参照

2秒以上押すと時計合わせなどができます。→⑯⑰ページ参照

⑨ プリセットボタン(①～②)～(⑤～⑥)

放送局をメモリー(記憶)したり、メモリーした放送局を聞くとき使います。FM、AMとも各バンドごとに6局ずつメモリーできます。→⑬ページ参照

⑩ MONOボタン

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき使います。
→⑭ページ参照

⑪ SCANボタン

放送局を探すとき使います。スキャン選局になります。
→⑮ページ参照

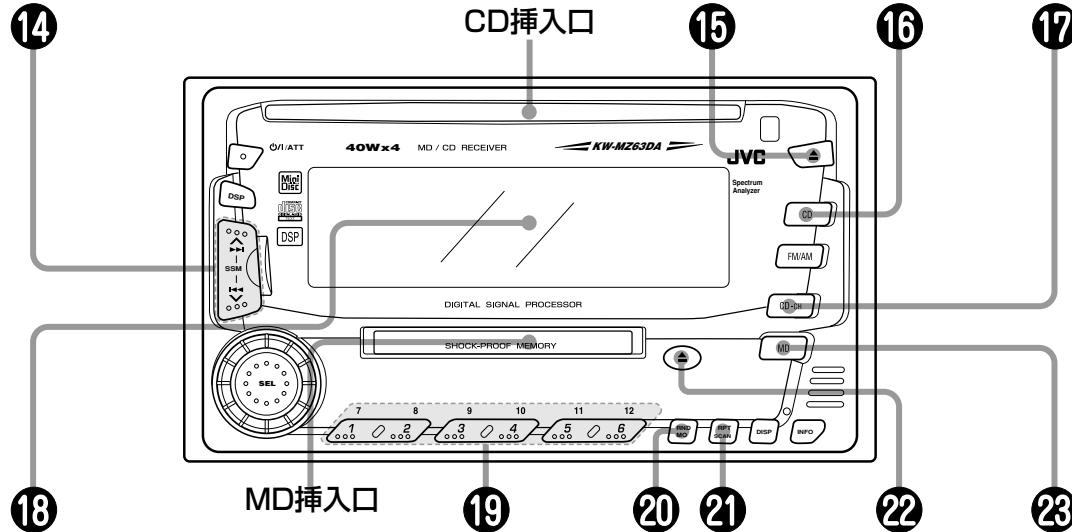
⑫ DISPLAYボタン：共通

表示窓の表示を変えるとき使います。→⑯⑰⑲ページ参照
ただし、「LINE IN」のときは変わりません。

⑬ INFOボタン：共通

道路交通情報(AM1,620kHz)を聞くとき使います。
→⑯ページ参照

各部の名前と働き(2) — MD/CDを聞くとき、CDチェンジャーのCDを聞くときの働きです。—



〈お知らせ〉

- 本機にCDチェンジャーが接続されていないときは、ソース(音源)が「CDチェンジャー」にはなりません。
- また、本機にMDまたはCDが入っていないときは、ソース(音源)が「MD」または「CD」にはなりません。「NO DISC」が表示されます。

14 ▶、◀(スキップ/サーチ)ボタン

曲の頭出しや早送り、早戻しに使います。

→[30](#)[31](#)ページ参照

15 ▲(CD取り出し)ボタン

CDを取り出すとき使います。→[45](#)ページ参照

16 CDボタン

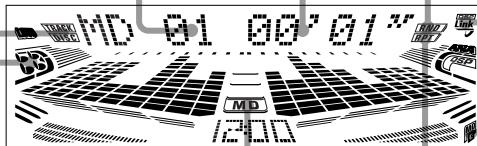
ソース(音源)を「CD」にするとき使います。電源を入れることもできます。

17 CD_{チェンジャー}ボタン

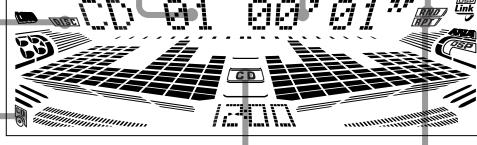
ソース(音源)を「CDチェンジャー」にするとき使います。電源を入れることもできます。→[55](#)ページ参照

18 表示窓

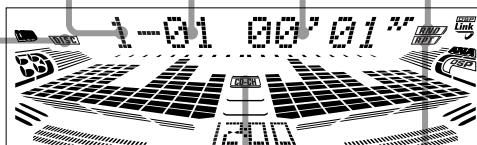
● MDのとき

- 曲番号表示
演奏時間表示
DSP LINK表示
曲名の表示
フォーカス表示
ソース表示(MD)
リピート演奏表示
ディスクイン表示
- 

● CDのとき

- 曲番号表示
演奏時間表示
ランダム演奏表示
ディスク名の表示
ディスクイン表示
ソース表示(CD)
リピート演奏表示
- 

● CDチェンジャーのとき

- ディスク番号の表示
曲番号表示
演奏時間表示
ランダム演奏表示
ディスク名の表示
ソース表示(CDチェンジャー)
リピート演奏表示
- 

19 ①②～⑤⑥ボタン

● 「MD」または「CD」のとき 曲番号ボタン

聞きたい曲を選ぶときを使います。→[24](#)[25](#)ページ参照

● 「CDチェンジャー」のとき CDダイレクト選択ボタン

CDチェンジャー内の聞きたいCDを直接選ぶときを使います。→[26](#)ページ参照

20 ランダム RNDボタン

MDまたはCDに収録されている順番に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。(ランダム演奏)

→[26](#)[29](#)[37](#)ページ参照

21 リピート RPTボタン

曲をくり返して聞くことができます。(リピート演奏)
→[24](#)[25](#)[37](#)ページ参照

22 ▲(MD取り出し)ボタン

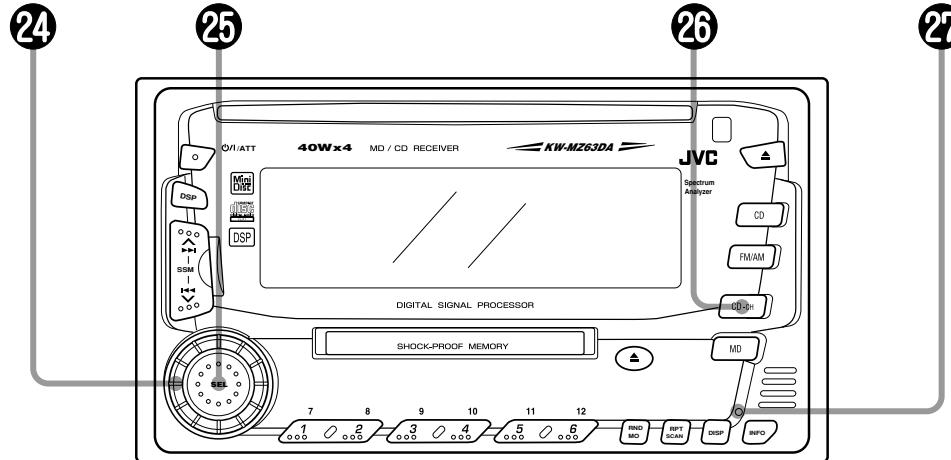
MDを取り出すときを使います。→[24](#)ページ参照

23 MDボタン

ソース(音源)を「MD」にするときを使います。電源を入れることもできます。

各部の名前と働き(3)

— 他の機器の音を聞くとき、その他の働きです。 —

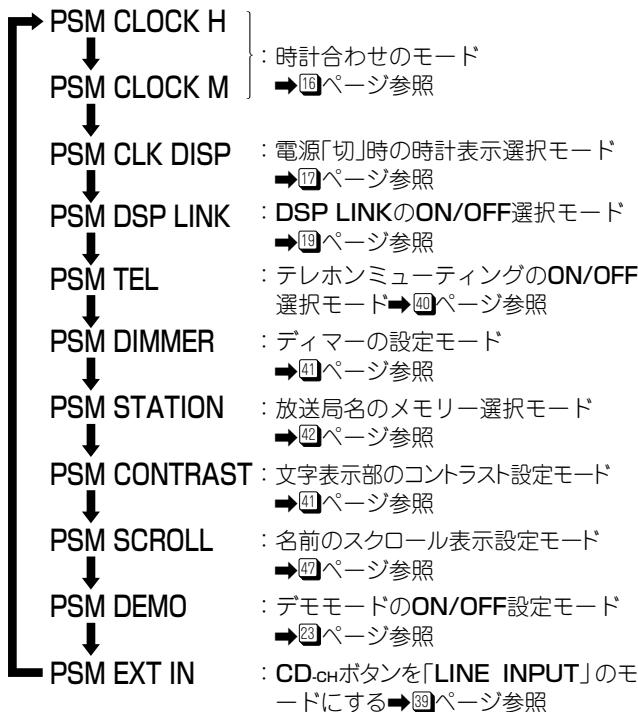


24 ジョグダイヤル：その他

SELボタンを2秒以上押して選んだPSMのモードの調節または選択ができます。→[16](#)[39](#)ページ参照

25 SELボタン：その他

2秒以上押すと、お買い上げ時は「PSM CLOCK H」のモードになり時計合わせ(「時」の調節)ができます。このとき▲(または▼)ボタンを押すと、下記のモードが選べます。
例は▲ボタンを押したときです。▼ボタンでは逆に変わります。次からは選んだモードが優先的に表示されます。



26 CD-CHボタン

「LINE INPUT」のモードに切換えたあと、接続した他の機器のソース(音源)にするとき使います。→ 38ページ参照
電源を入れることもできます。

27 リセットボタン：その他

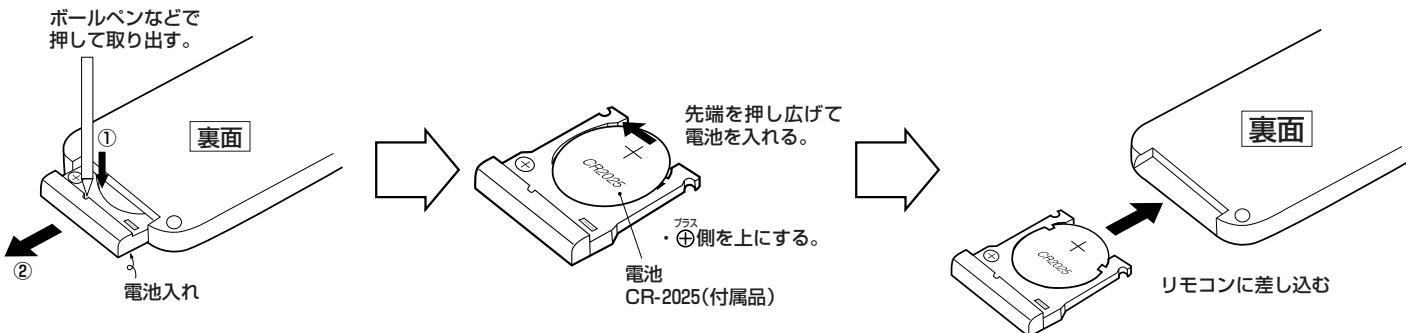
初めて電源を入れたときまたは、どのボタンを押してもうまく動作しなくなったとき、このボタンを押して内蔵のマイコンをリセットします。→ 22ページ参照

リモコン(RM-RK36:別売り)の使いかた

リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)

電池の入れかた



● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

各部の名前と働き

①/(電源)/ATTボタン

1秒以上押すと電源の「オン」 \leftrightarrow 「オフ」ができます。「ポン」と押すと音量を一時的に下げるることができます。

DISC+/BANDボタン

- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。
(PROGの機能はありません)

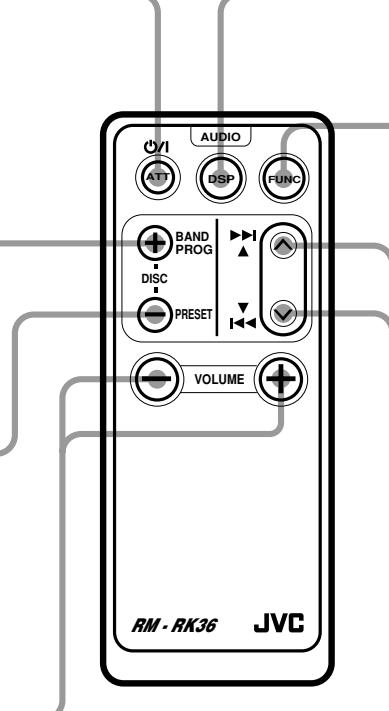
DISC-/PRESETボタン

- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局(1ch~6ch)の選局ができます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。

VOLUME+,-(音量)ボタン

音量の調節ができます。

- ・+：音量が上がります。
- ・-：音量が下がります。



DSPボタン

DSPの音場を選ぶとき使います。

FUNCボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。

押すごとに

ラジオ \rightarrow MD \rightarrow CD \rightarrow CDチェンジャー
(LINE IN)

と変わります。ただし本体にMDやCDが入っていなかったりCDチェンジャーが接続されていないときはラジオのみになります。

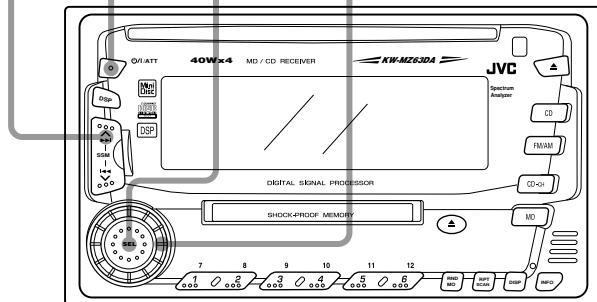
\blacktriangleleft 、 \triangleright ボタン

- ・「ラジオ」のとき：選局(自動選局)ができます。
- ・「MD」、「CD」と「CDチェンジャー」のとき
：曲の頭出しや早送り、早戻しができます。
(\blacktriangleleft と \triangleright の機能はありません)

時計の合わせかた

— 本機に内蔵の時計を現在時刻に合わせておきます。 —

3-2 1 2 3-1・3-3



1 オン(電源)/ATTを押して電源を入れる (HELLO!が表示されます)



- ・電源を切るときは、
1秒以上押します。
(SEE YOU表示)
のあと電源オフ
になります
- ・「ポン」と押したときは、ATTに
アッテネーター
なり音量が一時的に下がり、
ATT表示が点滅します。
もう一度押すと元の音量に戻ります

2 SELを2秒以上押して「PSM CLOCK H」を表示 させる



→ PSM CLOCK H

- ・2秒以上押す。

- ・「PSM CLOCK H」以外の表示が出たときは、△(または▽)ボタンを「ポン・ポン」と押して選びます。

3 現在時刻に合わせる(時刻表示点滅中に操作します)

例：7時30分に合わせるとき(12時間表示方式です)

「時」を合わせる



「時」を
下げるとき
「時」を
上げるとき

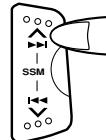
(3-1)



1秒ごとに点滅

- ・調節中は文字表示部に CLOCK HOUR が
表示されます。

ミニッツ
「PSM CLOCK M」を
表示させる



(3-2)

「分」を合わせる



「分」を
下げるとき
「分」を
上げるとき

(3-3)



- ・調節中は文字表示部に CLOCK MINUTE が
表示されます。

- ・時刻合わせが終わったらあと、15秒で自動的に元のソース(音源)表示に戻ります。すぐに戻したいときはSELボタンを「ポン」と押します。
- ・時刻を合わせ直すときも2-3の操作をします。
- ・「時」が変わるとき(例：10時00分のとき)は、文字表示部に時刻が移り CLOCK10:00を5秒間表示し、元に戻ります。
- ・お買い上げ時は、電源「切」のときは時計が表示されないようになっています。表示されるようにすることもできます。→ 図ページ参照
- ・バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れると、設定した時刻は取り消されます。もう一度時刻合わせをしてください。

電源「切」のとき時計を表示させる

電源「切」のとき表示窓に時計を表示させることができます。

1 SELを2秒以上押します

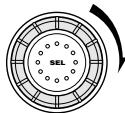


2秒以上押す。

- お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 ▲(または▼)を「ポン・ポン」と押して 「PSM CLK DISP」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回して「CLK DISP ON」にする



クロック

- 「CLK DISP ON」にすると、本機の電源「切」のとき表示窓に時計が表示されます。
- 車のエンジンキーをオフにした場合、本機の電源が「切」にならない車種のときは、「CLK DISP ON」にしないでください。バッテリーを消耗する原因となります。

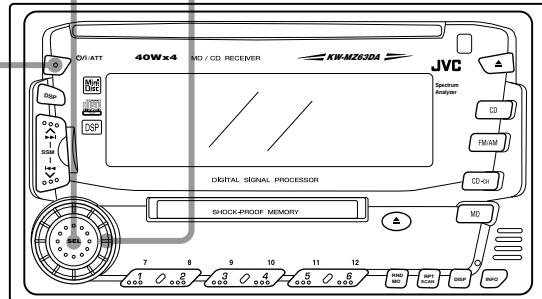
- 左方向に回すと「OFF」に戻れます。

4 SELを押す

- 元のソース(音源)表示に戻ります。

音量・音質の調節

1 2 3



1 オル(電源)/ATTを押して電源を入れる
(HELLO!が表示されます)



- 電源を切る前のソース(音源)が表示されます。

2 SELを押して調節したいモードを選ぶ



- 「ポン・ポン」と押すごとに表示窓に
BASS → TREBLE → FADER → BALANCE
- VOLUME ← LOUDNESS ←

- 「ポン」と押す

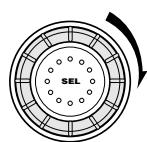
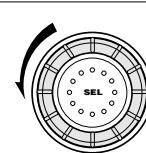
と変わります。ただしVOLUME(音量)調節のみの場合、
この操作は、必要ありません。直接ジョグダイヤルで調節
できます。

一口メモ

- 調節したレベルはメモリー(記憶)されます。
電源を切っても次に電源を入れたときは、電源を切
る前のレベルが表示されます。
- フェーダー調節は4スピーカー接続のときのみ調節
してください。

3 ジョグダイヤルを回して調節する

- 調節したレベル
が表示窓に表示
されます。



VOLUME (音量)	音量が下がる	音量が上がる
BASS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TREBLE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
FADER (フェーダー)	フロント出力が下がる	リア出力が下がる
BALANCE (バランス)	右チャンネルの音量が下 がる	左チャンネルの音量が下 がる
LOUDNESS (ラウドネス)	ラウドネス“オフ”	ラウドネス“オン”

●初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
VOLUME(音量)	15	00～50
BASS(低音)	00(フラット)	-6～+6
TREBLE(高音)	00(フラット)	-6～+6
FADER(フェーダー)	00(センター)	リア フロント R 6～F 6
BALANCE(バランス)	00(センター)	レフト ライト L 6～R 6
LOUDNESS(ラウドネス)	ラウドネス“オン”	オン/オフ

- ラウドネス“オン”に設定すると、LOUDNESSが表示になります。音量の設定に関係なく低音、高音が増強されます。小音量時には、より効果が得られます。
- 調節が終わってから5秒後に、表示窓は前の表示に戻ります。

DSP LINK機能について

DSP LINKとは、各ソース(音源)ごとに音質、フェーダー、バランス、ラウドネスを調節してメモリーしておける機能のことです。お買い上げ時は「DSP LINK ON」(LOUDNESSが表示)になっておりますので、お好みの音質に調節しメモリーしてください。→⑩ページ参照各ソース(音源)とも同じ音質にしたいときは、DSP LINKを「OFF」にします。

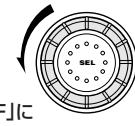
● DSP LINK機能を取り消すには

1 SELを2秒以上押します

- ・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 ▲(または▼)を「ポン・ポン」と押して「PSM DSP LINK」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回して「DSP LINK OFF」にする



「OFF」にするとき

- ・LOUDNESS表示が消えます。音場を変えても同じ音質になります。
- ・右方向に回すと「DSP LINK ON」に戻ります。

4 SELを押す

- ・元のソース(音源)表示に戻ります。

DSPの使いかた

- 本機には、あらかじめ7つの音場がメモリーされています(これをメーカープリセットといいます)。ソースの音場に合わせてジョグダイヤルを回わせば、演奏会場や劇場の雰囲気が再現されます。

•メーカーpriセット音場の呼び出し

1 DSPを押してDSPモードにする



・押すごとにモード
が変わります。

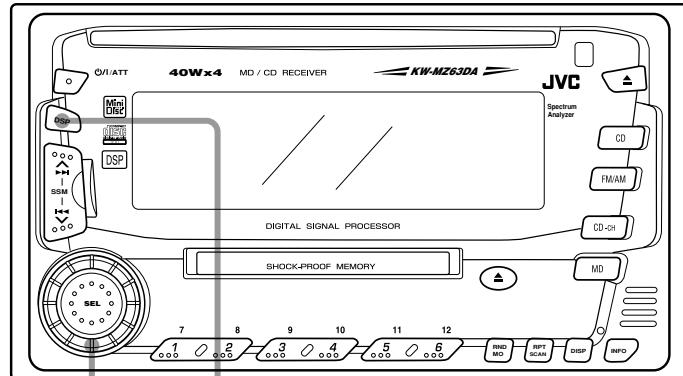
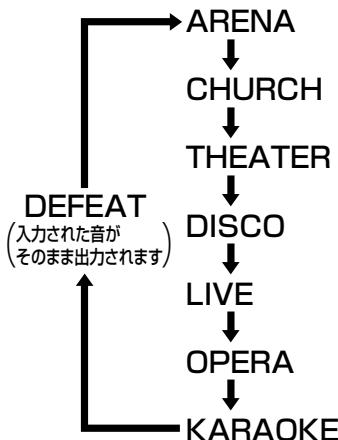
・お買い上げ時は
DEFEAT
が表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して音場を選ぶ



・左方向に回すと逆に変
わります。
ディフィート以外にす
るとONが表示されま
す。

↓
・15秒後に点滅が点灯表示
になります。

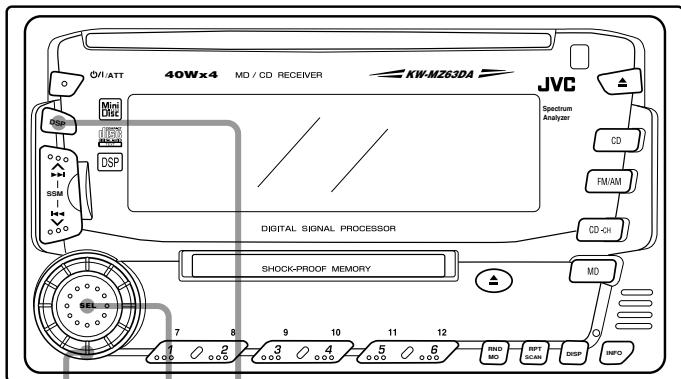


2 1

音 場	例えはこんな音楽の再生に
アリーナ	・野外で収録されたコンサートのライブ盤
チャーチ	・バロック音楽 ・ゴスペル調のソウルフルサウンド
シアター	・映画音楽 ・ビデオソフトの音声
ディスコ	・パワフルなロックやポップス系の曲
ライブハウス	・ヘビーメタルやロックバンドの演奏
オペラハウス	・オペラやミュージカルなど
カラオケ	・歌入りの曲をカラオケにするとき

リスニングポジションの設定

- カーDSPの目的は、生演奏会場の臨場感を再現することですがこのためには、車室内の非対称音場の改善が必要になります。リスナーの位置に合わせてフォーカスのモードを選んでください。



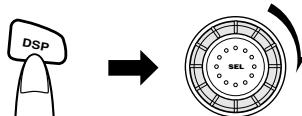
1.2・3 2 1.1

音場を好みの状態でメモリーするには

- 音場およびフォーカスのモードを選ぶ
- 音質、フェーダー、バランス、ラウドネスを調節する
→ 10ページ参照
- DSPボタンを2秒以上押す
 - 選んだ音場が点滅表示されメモリーされます。
ただし音量はメモリーされません。

● フォーカスのモードの選択

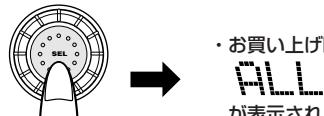
1 DSP→ジョグダイヤルで音場を選ぶ



・詳しくは10ページ参照

(1.1) (1.2)

2 SELを7回押してフォーカスのモードにする



・お買い上げ時は
ALL SEAT
が表示されます。

・7回押す。

3 ジョグダイヤルでモードを選ぶ



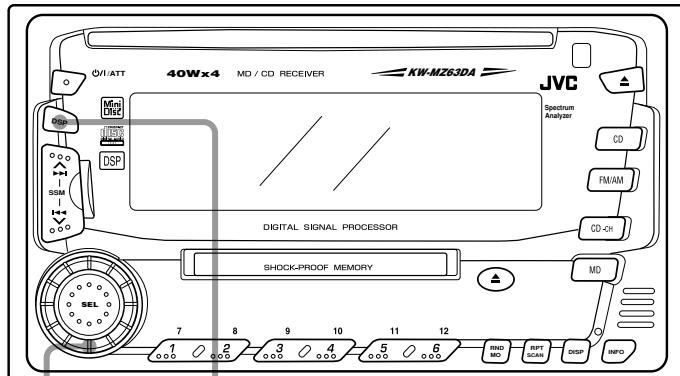
・左方向に回すと
逆に選べます。

- | | |
|---|--|
|  → ALL SEAT
 FRON SEAT
 DRIVER
 PASSENGER | : 全席
: 前席
: 国産車
運転席
: 国産車
助手席 |
|---|--|



スペアナとして使うには

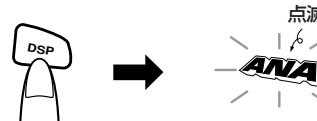
- お買い上げ時は、表示窓がスペアナ表示の**ALL DEMO**になっております。ジョグダイヤルで表示を変えることができます。



2
1

• スペアナ表示の選択

1 DSPを2回押してスペアナのモードにする



・2回押す。

・お買い上げ時は
ALL DEMO
が表示されます。
スペアナの各モードの
表示をくり返します。

2 ジョグダイヤルを回してスペアナ表示を選ぶ



・左方向に回すと
逆に選べます。

↓
・15秒後にソース(音源)
表示に戻ります。
ANA表示が点灯に変
わります。



〈お知らせ〉

- STANDARDからSEA SIDE表示までは、2種類ずつあります
が、イルカをイメージした表示(イルカ)があるかないかの違いでスペアナ表示は変わりません。

表示窓のモードを変えるには

●表示窓のデモ表示について

本機は、一定時間*何の入力信号がない状態が続くと、自動で以下のようなデモ表示を行います。

KW-MZ63DA→**MD**→**CD**→**KW-MZ63DA**→**DSP**



*一定時間は：

- 初めて電源を入れたとき
- リセットボタンを押してリセットしたときは10秒
- 入力信号のない状態(放送局を受信していないときなど)が3分以上続いたとき

デモ表示を出なくするには右の説明をご覧ください。

表示窓のデモモードの解除／設定

電源を「オン」にしたときのデモ表示を出なくすることができます。

1 SELを2秒以上押します



2秒以上押す。

- ・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 ▲(または▼)を「ポン・ポン」と押して 「PSM DEMO」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回して「DEMO OFF」にする



「OFF」に
するとき

- ・「DEMO OFF」にすると、デモ表示を出なくすることができます。
- ・通常は、「DEMO OFF」で使用することをお勧めします。

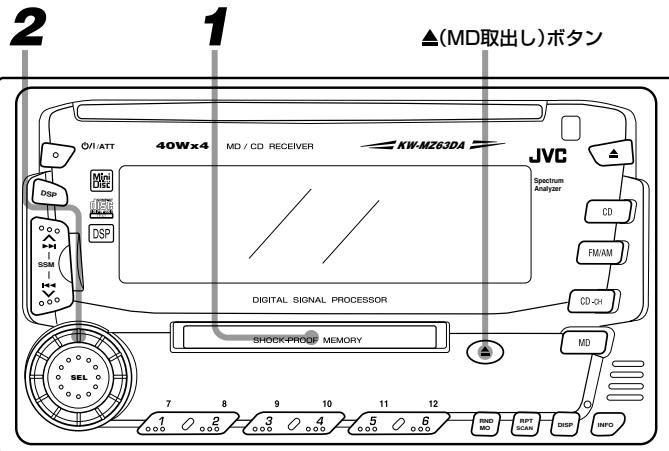
(元に戻すときは、ジョグダイヤルを右方向)
に回して「DEMO ON」にします

4 SELを押す

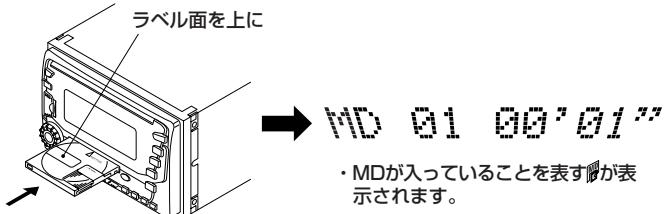
- ・元のソース(音源)表示に戻ります。
- この場合、「時間」が変わっても、文字表示部に時刻は移りません。

MDを聞く

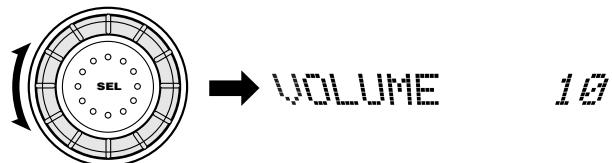
— 番号順に操作します。—



1 MDを入れる (電源が入り、演奏がスタートします)



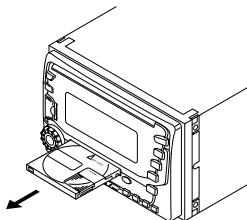
2 ジョグダイヤルで音量を調節する



MDを挿入するときは

- 故障を防止するため次のことを確認してください。
 - ・ ラベル面を上にする。
 - ・ 挿入方向の矢印の表示に従って本体に入れる。
 - ・ 無理に押し込まない。
(途中まで入れると自動で引き込まれます)
 - ・ ラベルのはがれかかったMDは使用しない。
 - ・ カートリッジ表面のほこりやゴミはふき取ってから入れる。

- MDを取り出すときは▲(MD取出)ボタンを押します。
エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。MDが出てきたのち電源が切れます。

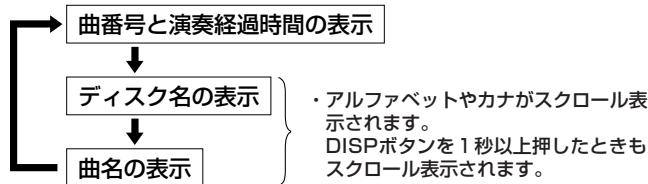


表示窓にディスク名を表示させるには

MDを挿入すると演奏がスタートし、表示窓に「ディスク名→曲名→曲番号と演奏経過時間」が順に表示されます。
DISPボタンを「ポン・ポン」と押すと、ディスク名などを表示させることができます。



- 押すごとに
変わります。



なお、MDにディスク名や曲名が記録されていないときは表示されません。「NO NAME」が表示されます。

〈お知らせ〉

スクロール表示は、お買い上げ時は1回自動でスクロール(ONCE)^{ワンス}の状態になっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。→⁴⁷ページ参照

●音量調節について

MD(CD)の演奏は、無音状態での雑音がほとんどありません。気づかずに大きめの音量に調節すると、思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損する恐れがあります。電源を切る前に音量を下げておき、演奏がスタートしてから適度な音量に合わせてください。

●MDを入れると…

ソース(音源)は、自動的に「MD」になり演奏がスタートします。またMD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。
またモノラルで録音されたMDを入れると、自動的にモノラルで演奏されます。

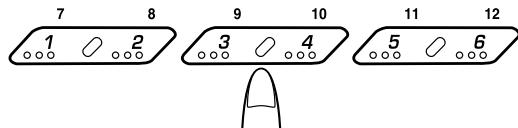
〈お知らせ〉

●モノラルで録音されたMDを演奏した場合、演奏時間が正確に表示されないことがあります。

MDを聞く(つづき)

ダイレクト演奏

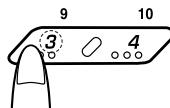
演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- ・1～6曲目を聞くときは…

聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。

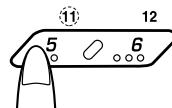
例：3曲目のとき



- ・7～12曲目を聞くときは…

聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。

例：11曲目のとき



- ・13曲目以上は、演奏中に△ボタンを押して聞きたい曲番号を選びます。→図ページ「スキップ」演奏参照

1曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



REPEAT ON

もう一度押すと、解除されます。

・表示窓に「RPT」が表示されます。

ランダム演奏

演奏中のMDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



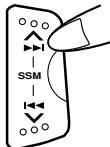
RANDOM ON

もう一度押すと、解除されます。

・表示窓に「RND」が表示されます。

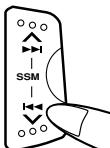
スキップ演奏(曲の頭出し)

●演奏中に次の曲を聞くには…



- △ボタンを「ポン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

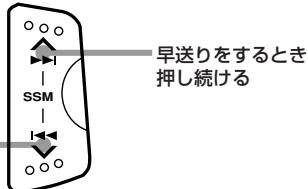
●演奏中に前の曲を聞くには…



- ▽ボタンを「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう一回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

- 演奏中のMDの好みの位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。



サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すと普通の演奏に戻ります。

お願い

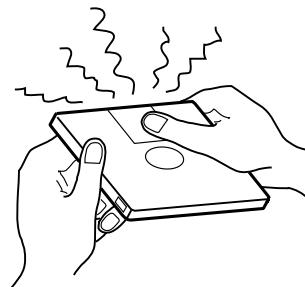
●MDを保管するときは

専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。

MDのカートリッジが変形すると、使用できなくなります。

●MDのシャッターについて

MDのシャッターは開かないようにロックされています。無理に開けると、ディスクがこわれます。

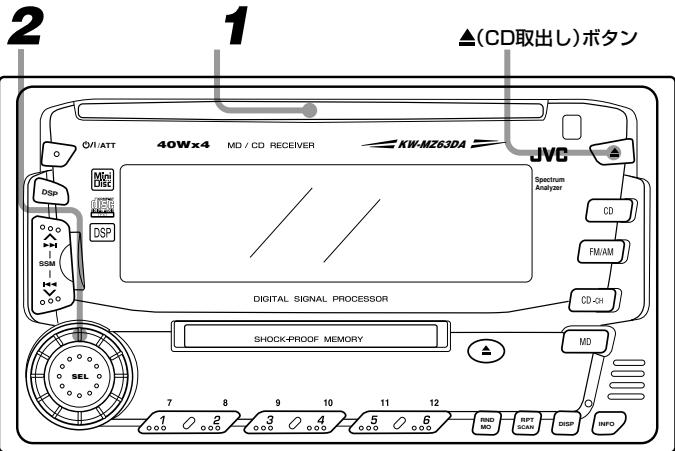


●MDカートリッジにラベルを張ってお使いになる場合

ラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

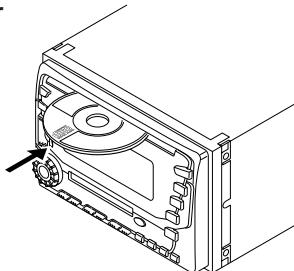
CDを聞く

— 番号順に操作します。 —



● 8センチCDの入れかた

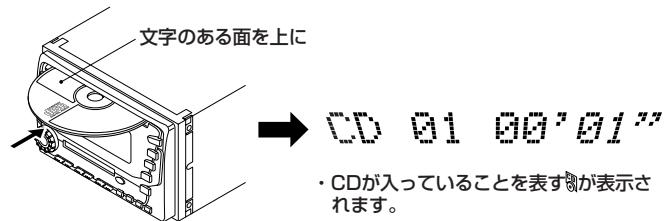
8センチCDは、挿入口の中央から軽く押して入れます。



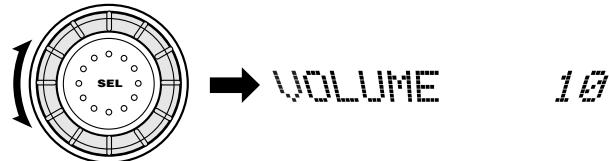
● CDを入れると…

ソース(音源)は、自動的に「CD」になり演奏がスタートします。またCD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。

1 CDを入れる (電源が入り、演奏がスタートします)



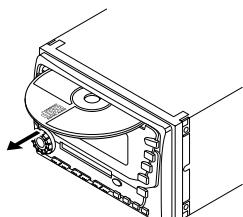
2 ジョグダイヤルで音量を調節する



● CDを取り出すときは、▲(CD取出し)ボタンを押します。

エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。CDが出てきたのち電源が切れます。

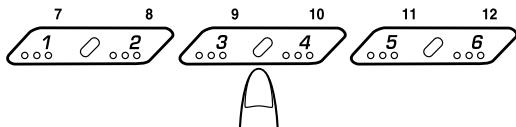
(取らずにそのままにしておくと、15秒)
後に自動的に中に引き込まれます



● 文字のある面にDISCまたはCOMPACT DISCのマークが入っている、JIS規格に合ったCDをお使いください。

ダイレクト演奏

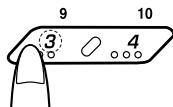
演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- ・1～6曲目を聞くときは…

聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。

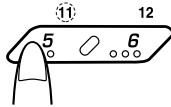
例：3曲目のとき



- ・7～12曲目を聞くときは…

聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。

例：11曲目のとき



- ・13曲目以上は、演奏中に△ボタンを押して聞きたい曲番号を選びます。→[30ページ 「スキップ演奏」参照](#)

CD-Rディスクについて

お客様が編集したCD-Rディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- ・CD-Rディスクをお使いになる前に、使用上の注意をよくお読みください。
- ・ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- ・CD-RW(リライタブル)ディスクは演奏できません。

1曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



→ REPEAT ON

もう一度押すと、解除されます。

・表示窓に「RPT」が表示されます。

ランダム演奏

演奏中のCDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



→ RANDOM ON

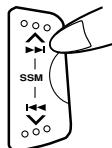
もう一度押すと、解除されます。

・表示窓に「RND」が表示されます。

CDを聞く(つづき)

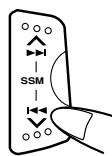
スキップ演奏(曲の頭出し)

- 演奏中に次の曲を聞くには…



- △ボタンを「ポン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

- 演奏中に前の曲を聞くには…



- ▽ボタンを「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう一回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

- 演奏中のCD好みの位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。



サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。
このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。

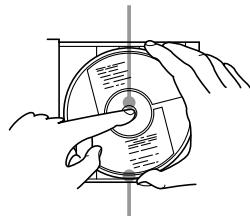
お願い

- CDを保管するときは

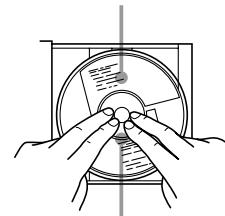
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。

- ケースからの出し入れ

センターholdeを押さえ…



文字のある面を上にして…



演奏面(虹色に光っている面)に
触れないように持って出す。

上から押さえて入れる。

- ラベル面に紙を張ったり字を書いたりしないでください。

- CDは曲げないでください。



- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。シェイプCDを入れると、故障の原因となります。

- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。

ラジオを聞く

— 番号順に操作します。—

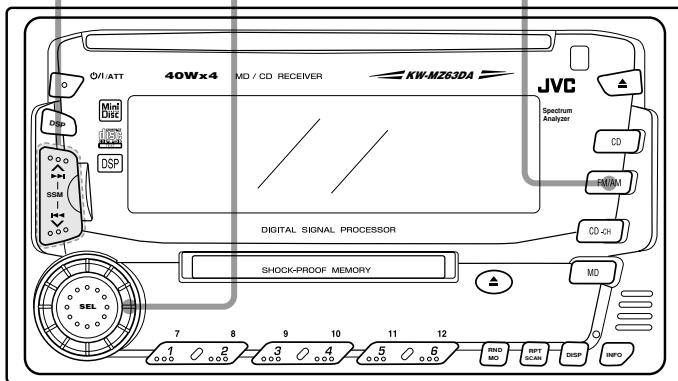
マニュアル選局

……電波の弱い放送局を受信したり、聞きたい放送局の周波数が分かっているときなどに使います。

3・4

5

1・2



マニュアル選局のモードは…

選局の操作から5秒後に、マニュアル選局のモードは自動的に解除されます。シーク選局(→32ページ参照)のモードになります。

ご注意

- 交通安全のため、運転中は本機を操作しないでください。必ず停車時に操作してください。

1 FM/AMでソース(音源)を「ラジオ」にする →電源が入ります



- ・電源が入ると自動的に前の放送局が受信できます。
(FM放送の場合
が表示されます)



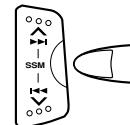
- ・表示窓にバンドと周波数が表示されます。
お買い上げ時は、FM 76.0が表示されます。

2 FM/AMでバンドを選ぶ



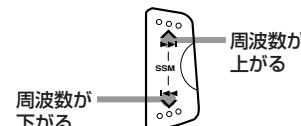
- ・押すごとに
FM1 → FM2
↑
AM2 ← AM1
↓
と変わります。
・AM放送はモノラル受信です。

3 選局ボタン(△または▽)を1秒以上押してマニュアル選局のモードにする



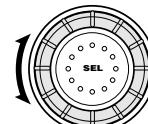
- ・選局ボタン(△または▽)を1秒以上押して表示窓に「MANU」を点滅させます。

4 選局ボタン(△または▽)で放送局に合わせる



- 周波数が上がる
周波数が下がる
- ・1回押すとFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ移動し、押し続けると連続して変わります。

5 ジョグダイヤルで音量を調節する



ラジオを聞く(つづき) — 番号順に操作します。—

プリセット選局

本機は、周波数を記憶しておくメモリー回路が内蔵されていますので、いったんメモリーしておけばあとはプリセットボタンを押すだけで正確な放送局の呼び出しができます。

- 操作例：FM放送の81.3MHzにある局をプリセットボタン $\text{[...]} \text{[...]}$ にメモリーするには…



バンドごとに6局ずつメモリーできますので、上記の操作例を参考にお好きな順序でプリセットボタンにメモリーしてください。
AM放送の場合でも同じ手順でメモリーできます。

ご注意

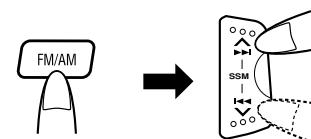
- バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れるとメモリーした局や時刻の設定は、すべて取り消されます。このようなときはもう一度メモリー操作と、時刻合わせをしてください。

シーク選局(自動選局)

「MANU」が表示窓に表示されてないときは、選局ボタン(▲または▼)を「ポン」と押すだけでチューナーが自動的に放送局を探してくれます。これをシーク選局(自動選局)といいます。

希望する放送局の周波数を正確に覚えていないときなどにお使いください。

例：FM放送のとき



- FM1またはFM2を選ぶ。

「ポン」と押して離す。

- 「SEEK」が表示され放送局が見つかると、選局が自動停止します。

MUボタンの使いかた



FMステレオ放送受信時に電波状態が悪くて雑音が多いとき、このボタンで切替えます。表示窓にMONO ON表示のあと「MU」が表示されモノラル受信モードになります。聞きやすくなります。

電波状態が良好になったら「ST」表示に戻してお使いください。

SSM(ストロングステーションメモリー)の使いかた

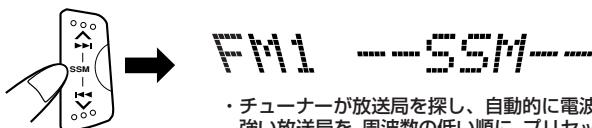
チューナーが自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に6局までメモリーしてくれます。
旅行先などで放送局を探すときに便利です。

●操作例：FM1にメモリーするとき

1 FM/AMでバンドを選ぶ(FM 1にする)



2 選局ボタンの△と▽の中央を2秒以上押す



中央を 2 秒以上押す。

3 放送局が6局メモリーされるとプリセット1の表示になります

- ・プリセットボタン($\langle\text{000}\text{ }\text{001}\rangle$ ～ $\langle\text{000}\text{ }\text{006}\rangle$)を押して聞きたい放送局を選びます。(放送局が6局より少ないとときは、前のメモリー内容が残ります)

アンテナリモートについて

電動アンテナ装備車およびアンテナブースター装備車の場合は、**[オートアンテナ]**コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ソース(音源)を“**ラジオ**”にすると自動的にアンテナ(ブースター)側に電源が供給されます。“**CDチェンジャー**”や“**CD**”、“**MD**”などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

([オートアンテナ]の最大コントロール電流は250mAです)
[オートアンテナ]コードを接続しても、コントロール電流が過大で放送の受信がうまくできないときは、[リモート出力]に接続し直してください。

この場合、どのソース(音源)でもアンテナ(ブースター)側に電源が供給されます。

ご注意

- 電動アンテナ装備車は、アンテナに十分ご注意ください。

スキャン選局



SCANボタンを押すと、「**SCAN**」が表示され自動的に周波数が高い方に移動して放送局を探します。放送を受信するごとに表示の周波数が点滅し、約5秒間モニターしていきます。

聞きたい放送局のところでもう一度、**SCAN**ボタンを押すとスキャン選局を停止し、その放送を継続して聞くことができます。

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く



高速道路などの特定地域では、AM1,620kHzで道路交通情報を聞くことができます。

聞きたいところでINFOボタンを押すと、ソース（音源）に関係なく1,620kHzが受信できます。

INFO 1620

- INFOボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合にのみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース（音源）に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中にINFOボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量がINFOボタンにメモリーされます。

CDテキストについて

CDテキストについて



「CDテキスト」は、今までの音楽CDにアルバムタイトルや曲名、アーティスト名などの文字情報を追加した、音楽CDの新しい機能です。

本機にCDテキスト対応のCDを入れたり、CDテキスト対応のCDチェンジャー：CH-X1200（別売り）を接続し、CDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字で「CDテキスト」データを表示します。

• CDテキストの情報を見るには

CDテキスト対応のCDの演奏がスタートすると、表示窓に「ディスク名→曲名→曲番号と演奏経過時間」が順に表示されます。
DISPボタンを「ポン・ポン」と押すと、ディスク名などを表示させることができます

- 押すごとに変わります。



曲番号と演奏経過時間の表示

ディスク名の表示

曲名の表示

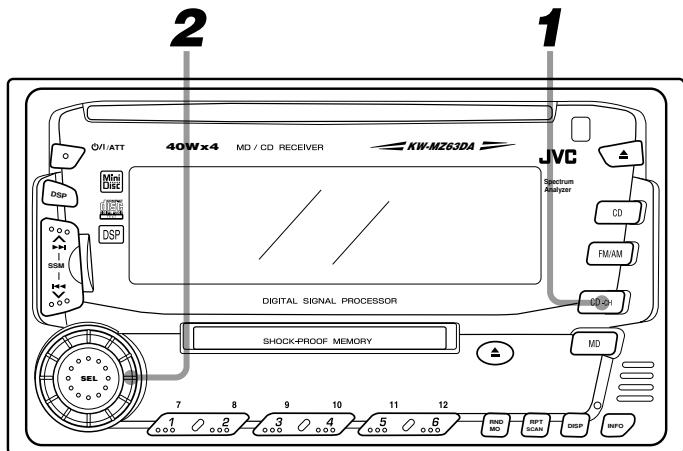
- アルファベットや数字がスクロール表示されます。
- DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。

CDチェンジャーのCDを聞く

— 番号順に操作します。 —

全曲演奏

— CDチェンジャー内のマガジンにはあらかじめCDを入れておいてください。 —



2

1

1

CD-CHでソース(音源)を「CDチェンジャー」にする→電源が入ります

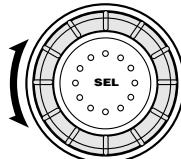


- ・CDチェンジャーを演奏中に電源を切ったときは、電源が入ると自動的に演奏が始まります。

1-01 00'01"

- ・演奏中は[CD-CH]が表示されます。

2 ジョグダイヤルで音量を調節する



VOLUME

10

- ・最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のCDの演奏が始まります。(全CDのくり返し演奏になります)

●演奏を途中でやめる

- FM/AMやMD、CDボタンを押して他のソース(音源)に切換えます。

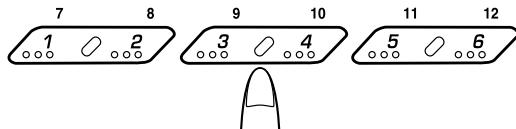
- CD-CHボタンを押しても「CDチェンジャー」に切換えることができないときは…

CD-CHボタンのモードを「LINE INPUT」から「CDチェンジャー」のモードに変えます。→[39](#)ページ参照

CDチェンジャーのCDを聞く(つづき)

CDダイレクト選択ボタンの使いかた

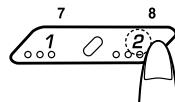
聞きたいCDが分かっているときは、CDダイレクト選択ボタンを使うと便利です。CDが選ばれると、選んだCDの1曲目から演奏が始まります。



聞きたいCDが入っているディスクトレイの番号に合わせてボタンを押します。(マガジンの下から順に1・2・3…となっています)

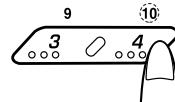
- 1～6枚目を選ぶときは：ボタンに表示されている番号のボタンを「ポン」と押します。

例：2枚目のとき



- 7～12枚目を選ぶときは：ボタンの上のパネル面に表示されている番号のすぐ下のボタンを1秒以上押します。

例：10枚目のとき



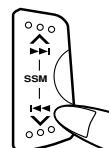
スキップ演奏(曲の頭出し)

- 演奏中に次の曲を聞くには



↑ボタンを「ポン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

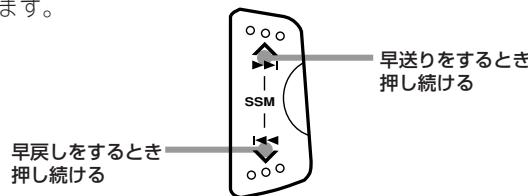
- 演奏中に前の曲を聞くには



↓ボタンを「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう1回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

- 演奏中の曲の途中の位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。



サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すとふつうの演奏に戻ります。

ランダム演奏

ランダム

- RNDボタンを使うとCDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。表示窓に「RANDOM1」または「RANDOM2」が表示されます。



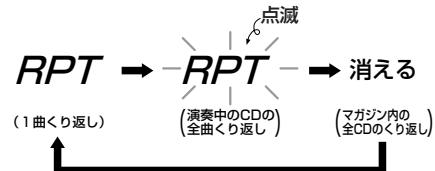
- 押すごとに次のように動作します。

- RANDOM1** : 演奏中のCDの中から1曲ずつランダム演奏をします。
演奏中のCDの曲が全て演奏し終わると、次のCDでランダム演奏になります。
(RNDが表示窓で点灯し続けます)
- RANDOM2** : マガジン内の全てのCDの中から1曲ずつランダム演奏をします。
(RNDが表示窓で点滅し続けます)

リピート演奏(くり返し演奏)

リピート

- RPTボタンを使うと演奏中の曲をくり返して聞くことができます。表示窓に「REPEAT1」または「REPEAT2」が表示されます。

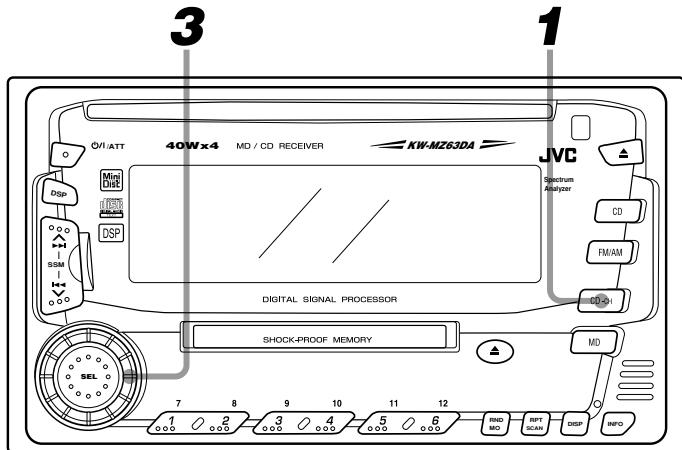


- 押すごとに次のように動作します。

- REPEAT1** : 演奏中の1曲をくり返して聞くことができます。
(RPTが表示窓で点灯し続けます)
- REPEAT2** : 演奏中のCDの全曲をくり返して聞くことができます。
(RPTが表示窓で点滅し続けます)

他の機器の音を聞く

— 番号順に操作します。—

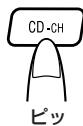


〈お知らせ〉

- 他の機器(RCAの2チャンネル出力端子付)は、変換コード^{*} : KS-U 57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子に接続することができます。すでにCDチェンジャーが接続されている場合は、ご利用になれません。

- あらかじめCD-CHボタンを「LINE INPUT」のモード^{*}に切換えておきます。→39ページ参照

1 CD-CHを押す→電源が入ります

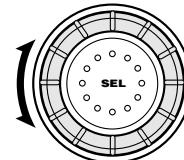


→ LINE INPUT

2 接続した機器を演奏状態にする

- 接続した機器に音量調節があるときは、MDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。

3 ジョグダイヤルで音量を調節する



MD/CDの盗難防止について

CD-CHボタンのモードを変更するには

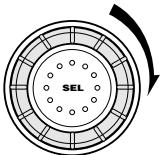
CDチェンジャー端子に他のカーラジオを接続したときは、CD-CHボタンのモードを「LINE INPUT」に変えます。ソース(音源)は「CDチェンジャー」以外にしておきます。

1 SELを2秒以上押す

- お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 ▲(または▽)を「ポン・ポン」と押して「PSM EXT IN」を選ぶ

3 ジョグダイヤルで「LINE INPUT」にする



- CDチェンジャーを接続したときは、左方向に回して「CD CHANGER」に戻します。
「CDチェンジャー」のモードになります。

4 SELを押す

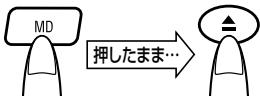
- 元のソース(音源)表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- ソース(音源)が「CDチェンジャー」のときは、手順2のとき「PSM EXT IN」にはなりません。

本機に入れたMDやCDを、他の人が取り出せなくすることができます。

MDの場合



- 同時に2秒以上押す。



- 「NO MD EJECT」が点滅表示され、MDの取り出しができなくなります。
- もう一度同じ操作をすると、「MD EJECT OK」が点滅表示されMDの取り出しができます。

CDの場合



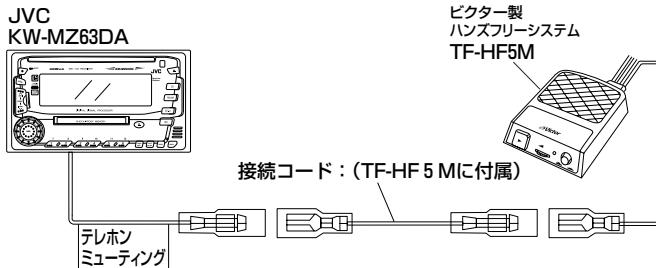
- 同時に2秒以上押す。



- 「NO CD EJECT」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。
- もう一度同じ操作をすると、「CD EJECT OK」が点滅表示されCDの取り出しができます。

テレホンミューティングについて

接続のしかた



- 接続については、別冊の取扱説明書をご覧ください。

テレホンミューティングとは

ビクター製のハンズフリーシステム：TF-HF 5 Mと接続した携帯電話やPHSに着信すると、「TELEPHONE」が点滅表示され本機の音が自動的に出なくなります。これをテレホンミューティングといい通話しやすくなります。

相手が切る*と自動で本機からの音が出るように戻ります。

* ビクター製のハンズフリーシステムは、自動着信&自動終了方式となっております。こちらで通話をON/OFFする必要はありません。

《お知らせ》

- ビクター製のハンズフリーシステムに適用する携帯電話やPHSは、ハンズフリーシステムのカタログ・取扱説明書をご覧ください。また日本ビクターのホームページでもご覧になれます。
日本ビクターのホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

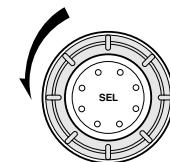
テレホンミューティングのモードを変えるには

1 SELを2秒以上押す

- お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 ▲(または▼)を「ポン・ポン」と押して「PSM TEL」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回してミューティングのモードを選ぶ



MUTING ON : テレホンミューティングを使うとき（お買い上げの状態）

MUTING OFF : テレホンミューティングを使わないとき

- 右方向に回すと「MUTING ON」に戻せます。

4 SELを押す

- 元のソース（音源）表示に戻ります。

表示窓の明るさ／コントラストを変える

— 番号順に操作します。—

表示窓の明るさを変えるには

1 SELを2秒以上押す

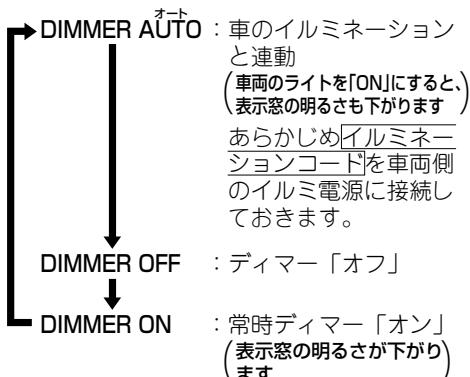
- お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 ▲(または▼)を「ポン・ポン」と押して「PSM DIMMER」を選ぶ

3 ジョグダイヤルでディマーのモードを選ぶ



・左方向に回すと逆に選べます。



4 SELを押す

- 元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓のコントラストの調節

表示窓の文字表示部が見えにくいときには、コントラストを調節します。

1 SELを2秒以上押す

- お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 ▲(または▼)を「ポン・ポン」と押して「PSM CONTRAST」を選ぶ

3 ジョグダイヤルでコントラストを調節する



下げるとき 上げるとき

・「CONTRAST 1～10」までの範囲で調節できます。運転席から表示窓を見て、見やすくなるように設定します。

・お買い上げ時は、「CONTRAST 5」になっています。

4 SELボタンを押す

- 元のソース(音源)表示に戻ります。

CDの名前や放送局名などを表示させる

表示の概要

CDの名前、放送局名を表示することができます。

ソース(音源)	表示する名前	文字数
CD/CDチェンジャー*	ディスク名	1枚当たり最大32文字 を40枚分まで記憶
ラジオ	放送局名	32局分を最大12文字ずつ (自動で表示するときは含まず)

*CDテキストの表示を変えることはできません。

- MDの場合は、すでにMDにタイトル名や曲名が記録されているときに限り表示されます。本機で記憶させることはできません。
また漢字で記録されているMDのタイトル名や曲名を本機で表示することはできません。

放送局名を自動で表示させるには

本機をご利用になる地域の放送局を受信したときは、自動で放送局名を表示させることができます。

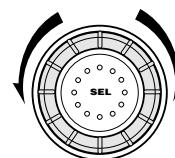
放送局名と表示名は、**43**～**47**ページをご覧ください。

1 SELを2秒以上押す

- ・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 ▲(または▼)を「ポン・ポン」と押して「PSM STATION」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回してご利用の地域を選ぶ



関東地方を選んだときの表示
ホッカイドウ ↔ トウホク ↔ カントウ ↔ チュウブ
↓ ↓ ↓ ↓
エリア ナシ キンキ
↓ ↓
オキナワ ↔ キュウシュウ ↔ シコク ↔ チュウゴク

- ・お買い上げのときは「エリア ナシ」になっています。

4 SELを押す

- ・放送局名が表示されるようになります。

放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	旭川	85.2MHz
	〃	〃	85.8MHz
	〃	北見	86.0MHz
	〃	函館	87.0MHz
	〃	帯広	87.5MHz
	〃	室蘭	88.0MHz
北海道(AM)	〃	釧路	88.5MHz
	NHK第1	NHKダイ1	567kHz
	〃	札幌	585kHz
	〃	釧路	603kHz
	〃	帯広	621kHz
	〃	旭川	639kHz
	STVラジオ	函館	
	STVラジオ		
北海道(AM)	NHK第1	NHKダイ1	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	702kHz
	〃	〃	747kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	864kHz
	〃	〃	864kHz
	STVラジオ	STVラジオ	882kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	900kHz
	STVラジオ		
北海道(AM)	STVラジオ	STVラジオ	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	945kHz
	STVラジオ	STVラジオ	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	1,125kHz
	〃	〃	1,125kHz
	〃	網走	
	NHK第1	NHKダイ1	
	STVラジオ	STVラジオ	
北海道(AM)	STVラジオ	STVラジオ	
	NHK第1	NHKダイ1	1,152kHz
	STVラジオ	STVラジオ	1,188kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	1,197kHz
	〃	釧路	1,269kHz
	NHK第1	北見	
	STVラジオ	旭川	
	HBCラジオ	帯広	

放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
北海道(AM)	HBCラジオ	札幌	1,287kHz
	〃	稚内	1,368kHz
	〃	釧路	1,404kHz
	STVラジオ	札幌	1,440kHz
	HBCラジオ	網走	1,449kHz
	NHK第2	函館	1,467kHz
	HBCラジオ	名寄	1,494kHz
	NHK第2	旭川	1,602kHz
東北(AM)	FM岩手	盛岡	76.1MHz
	FM仙台	仙台	77.1MHz
	エフエム青森	青森	80.0MHz
	FM山形	山形	80.4MHz
	ふくしまFM	郡山	81.8MHz
	NHK-FM	山形	82.1MHz
	FM岩手放送	仙台	82.5MHz
	NHK-FM	秋田	82.8MHz
東北(AM)	FM秋田	盛岡	83.1MHz
	NHK-FM	福島	85.3MHz
	〃	島根	86.0MHz
	〃	青森	86.7MHz
	〃	秋田	
	NHK第1	NHKダイ1	531kHz
	〃	盛山	540kHz
	IBC岩手放送	形岡	684kHz
東北(AM)	NHK第2	秋田	774kHz
	NHK第1	仙台	891kHz
	山形放送	山形	918kHz
	秋田放送	田中	936kHz
	NHK第1	青森	963kHz
	NHK第2	仙台	1,089kHz
	青森放送	青森	1,233kHz
	東北放送	仙台	1,260kHz

・2000年3月現在の主な放送局と周波数です。

CDの名前や放送局名などを表示させる(つづき)

放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
東北(FM)	NHK第1	NHKダイ1	福島 1,323kHz
	NHK第2	NHKダイ2	盛岡 1,386kHz
	ラジオ福島	ラジオフクシマ	福島 1,458kHz
	NHK第1	NHKダイ1	秋田 1,503kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山形 1,521kHz
	AFN	AFN	三沢 1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福島 1,602kHz
関東地方(FM)	インターFM FM 栃木 放送大学 BAY-FM FM-FUJI	インターFM レディオ・ベリー ホウソウダイガク BAY-FM FM-FUJI	東京 76.1MHz 宇都宮 76.4MHz 東京 77.1MHz 船橋 78.0MHz 三ツ峠 78.6MHz
	放送大学 NACK 5 TOKYO FM NHK-FM 〃 J-WAVE	ホウソウダイガク NACK 5 TOKYO FM NHK-FM 〃 J-WAVE	前橋 78.8MHz 浦和 79.5MHz 東京 80.0MHz 宇都宮 80.3MHz 千葉 80.7MHz 東京 81.3MHz
	NHK-FM 〃 〃 〃 FMヨコハマ	NHK-FM 〃 〃 〃 FMヨコハマ	前橋 81.6MHz 横浜 81.9MHz 東京 82.5MHz 水戸 83.2MHz 横浜 84.7MHz
	NHK-FM FM群馬	NHK-FM FMグンマ	浦和 85.1MHz 前橋 86.3MHz
	NHK第1 NHK第2 AFN TBSラジオ 文化放送 茨城放送	NHKダイ1 NHKダイ2 AFN TBSラジオ ブンカホウソウ イバラキホウソウ	東京 594kHz 〃 693kHz 〃 810kHz 〃 954kHz 水戸 1,134kHz 水戸 1,197kHz

放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
関東地方(AM)	ニッポン放送 ラジオ日本 栃木放送	ニッポンホウソウ ラジオニッポン トチギホウソウ	東京 1,242kHz 横浜 1,422kHz 宇都宮 1,530kHz
	FM福井	FMフクイ	福井 76.1MHz
	FM新潟	FMニイガタ	新潟 77.5MHz
中部地方(FM)	ZIP FM	ZIP FM	名古屋 77.8MHz
	K-MIX	K-MIX	静岡 79.2MHz
	FM 長野	FM ナガノ	美ヶ原 79.7MHz
中部地方(FM)	FM 石川	FM イシカワ	金沢 80.5MHz
	FM AICHI NHK-FM	FMA NHK-FM	名古屋 80.7MHz 富山 81.5MHz
	〃 〃 〃 FM とやま FM-FUJI	〃 〃 〃 FM トヤマ FM-FUJI	金沢 82.2MHz 新潟 82.3MHz 名古屋 82.5MHz 富山 82.7MHz 坊ヶ峰 83.0MHz
中部地方(FM)	NHK-FM	NHK-FM	福井 83.4MHz
	〃	〃	岐阜 83.6MHz
	〃	〃	長野 84.0MHz
	〃	〃	甲府 85.6MHz
	〃	〃	静岡 88.8MHz
中部地方(AM)	NHK第2 NHK第1 〃 北日本放送 YBSラジオ NHK第1	NHKダイ2 NHKダイ1 〃 キタニホンホウソウ YBSラジオ NHKダイ1	岡山 639kHz 富山 648kHz 名古屋 729kHz 富山 738kHz 甲府 765kHz 長野 819kHz

C D の名前や放送局名などを表示させる(つづき)

放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中部地方(FM)	NHK第1	NHKダイ1	新潟 837kHz
	福井放送	フクイホウソウ	福井 864kHz
	NHK第1	NHKダイ1	静岡 882kHz
	NHK第2	NHKダイ2	名古屋 909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	福井 927kHz
	"	"	甲府 927kHz
	NHK第2	NHKダイ2	富山 1,035kHz
	CBCラジオ	CBCラジオ	名古屋 1,053kHz
	信越放送	シンエツホウソウ	長野 1,098kHz
	北陸放送	ホクリクホウソウ	金沢 1,107kHz
近畿地方(FM)	新潟放送	ニイガタホウソウ	新潟 1,116kHz
	NHK第1	NHKダイ1	金沢 1,224kHz
	東海ラジオ	トウカイラジオ	名古屋 1,332kHz
	NHK第2	NHKダイ2	金沢 1,386kHz
	静岡放送	シズオカホウソウ	静岡 1,404kHz
	岐阜ラジオ	ギフラジオ	岐阜 1,431kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長野 1,467kHz
	"	"	福井 1,521kHz
	"	"	新潟 1,593kHz
	"	"	甲府 1,602kHz
近畿地方(FM)	FM CO・CO・LO E-Radio	FM CO・CO・LO E-Radio	生駒山 76.5MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM KOBE	滋賀 77.0MHz
	FM 三重	FM ミエ	姫路 77.6MHz
	FM 802	FM 802	津 78.9MHz
	NHK-FM	NHK-FM	大阪 80.2MHz
近畿地方(FM)	"	"	津 81.8MHz
	"	"	京都 82.8MHz
	"	"	大阪 84.0MHz
	"	"	和歌山 84.7MHz
	FM 大阪	fm osaka	大阪 85.1MHz

放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
近畿地方(AM)	NHK-FM	NHK-FM	神戸 86.5MHz
	"	"	良原 87.4MHz
	"	"	奈良 88.1MHz
	FM 京都	α-STATION	大坂 89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM KOBE	京神戸 89.9MHz
	AM KOBE	AM KOBE	神戸 558kHz
	NHK第1	NHKダイ1	京都 621kHz
	"	"	大坂 666kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大坂 828kHz
	ABCラジオ	ABCラジオ	ABC 1,008kHz
中国地方(AM)	KBS京都	KBSキョウト	京都 1,143kHz
	MBSラジオ	MBSラジオ	大阪 1,179kHz
	ラジオ大阪	ラジオオオサカ	大阪 1,314kHz
	和歌山放送	ワカヤマホウソウ	和歌山 1,431kHz
	岡山エフエム放送	FMオカヤマ	岡山 76.8MHz
中国地方(AM)	エフエム山陰	エフエムサンイン	江戸川 77.4MHz
	広島 FM	ヒロシマFM	広島 78.2MHz
	FM 山口	FMヤマグチ	山口 79.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	松山 84.5MHz
	"	"	江戸川 85.3MHz
	"	エフエム山陰	鳥取 85.8MHz
	NHK-FM	エフエムサンイン	浜田 86.6MHz
中国地方(AM)	"	NHK-FM	広島 88.3MHz
	"	"	岡山 88.7MHz
	NHK第1	NHKダイ1	岡山 603kHz
	"	"	口山 675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	広島 702kHz
	山口放送	ヤマグチホウソウ	島山 765kHz
	山陰放送	サンインホウソウ	米子 900kHz
中国地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	下関 1,026kHz

CDの名前や放送局名などを表示させる(つづき)

放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中國地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	広島
	NHK第2	NHKダイ2	鳥取
	NHK第1	NHKダイ1	松江
	中国放送	チュウゴクホウソウ	島嶼
	NHK第1	NHKダイ1	島嶼
	NHK第2	NHKダイ2	山口
	〃	〃	岡山
	山陽放送	サンヨウホウソウ	岡山
	AFN	AFN	岡山
	NHK第2	NHKダイ2	松江
四国地方(FM)	FM 香川	FM カガワ	高松
	FM 愛媛	FM エヒメ	松山
	FM 徳島	FM トクシマ	徳島
	FM 高知	FM コウチ	高知
	NHK-FM	NHK-FM	島嶼
	〃	〃	高松
	NHK-FM	NHK-FM	高松
	〃	〃	高松
	NHK-FM	NHK-FM	高松
	〃	〃	高松
四国地方(AM)	高知放送	コウチホウソウ	高知
	NHK第1	NHKダイ1	徳島
	〃	〃	松山
	〃	〃	高知
	NHK第2	NHKダイ2	高松
	南海放送	ナンカイホウソウ	高松
	NHK第2	NHKダイ2	松山
	四国放送	シコクホウソウ	高松
	NHK第1	NHKダイ1	島嶼
	西日本放送	ニシニホンホウソウ	高松
NHK第2	NHKダイ2	NHKダイ2	松山

放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州地方(FM)	Love FM FM 中九州	福岡 熊本	76.1MHz 77.4MHz
	FM 佐賀	佐賀	77.9MHz
	CROSS FM	福岡	78.7MHz
	SMILE-FM	長崎	79.5MHz
	FM 鹿児島	鹿児島	79.8MHz
	FM 福岡	福岡	80.7MHz
	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
	FM 宮崎	宮崎	83.2MHz
	NHK-FM	長崎	84.5MHz
	〃	福岡	84.8MHz
九州地方(AM)	NHK-FM	熊本	85.4MHz
	〃	鹿児島	85.6MHz
	〃	北九州	85.7MHz
	〃	佐世保	86.0MHz
	〃	宮崎	86.2MHz
	FM 大分	大分	88.0MHz
	NHK-FM	分人	〃
	FM オオイタ	大分	88.9MHz
	NHK-FM	人本	〃
	NHK第1	宮崎	540kHz
九州地方(AM)	〃	鹿児島	576kHz
	〃	福岡	612kHz
	NHK第1	大分	639kHz
	〃	長崎	684kHz
	〃	熊本	756kHz
	NHK第2	熊本	873kHz
	宮崎放送	宮崎	936kHz
	NHK第1	佐賀	963kHz
	NHK第2	福岡	1,017kHz
	大分放送	大分	1,098kHz
南日本放送	南日本放送	隼人	1,107kHz
	熊本放送	熊本	1,197kHz
	ミヤザキホウソウ	宮崎	936kHz
	NHKダイ1	佐賀	963kHz

放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
九州地方(AM)	長崎放送 RKBラジオ NHK第2 〃 KBCラジオ NHK第2 〃 AFN	ナガサキホウソウ RKBラジオ NHKダイ2 〃 KBCラジオ NHKダイ2 〃 AFN	長崎 福岡 長崎 鹿児島 福岡 大分 宮崎 佐世保	1,233kHz 1,278kHz 1,377kHz 1,386kHz 1,413kHz 1,467kHz 1,467kHz 1,575kHz
	FM 沖縄 NHK-FM AFN-沖縄	FM オキナワ NHK-FM FM AFN	那覇 沖縄 〃	87.3MHz 88.1MHz 89.1MHz
	NHK第1 AFN 琉球放送 ラジオ沖縄 NHK第2	NHKダイ1 AFN リュウキュウホウソウ ラジオオキナワ NHKダイ2	沖縄 〃 那覇 〃 〃	549kHz 648kHz 738kHz 864kHz 1,125kHz

・2000年3月現在の主な放送局と周波数です。

名前のスクロール表示のモードを変えるには

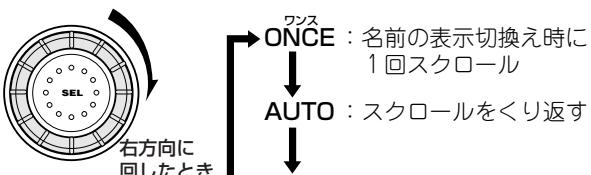
名前は、ディスク名または曲名に切換えたとき1回スクロール表示されます。スクロール表示のモードは変えることができます。

1 SELを2秒以上押す

- お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 ▲(または▼)を「ポン・ポン」と押して「PSM SCROLL」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回してスクロールのモードを選ぶ



・左方向に回すと
逆に選べます。

4 SELを押す

- 元のソース(音源)表示に戻ります。

CDの名前や放送局名などを表示させる(つづき)

文字の入力のしかた(修正・削除)

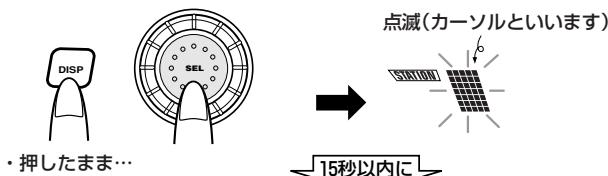
名前を入力したいときは、次の手順で入力します。入力した名前を修正(削除)するときも同じ操作になります。CD/CDチェンジャーは最大32文字(40枚)、ラジオは32局分を最大12文字まで入力できます。

1 ソース(音源)を選ぶ

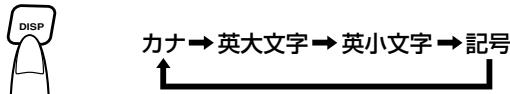
- CD、CDチェンジャーまたはラジオを選びます。

2 DISPを押したままSELを同時に2秒以上押す

例: ラジオを選んだとき



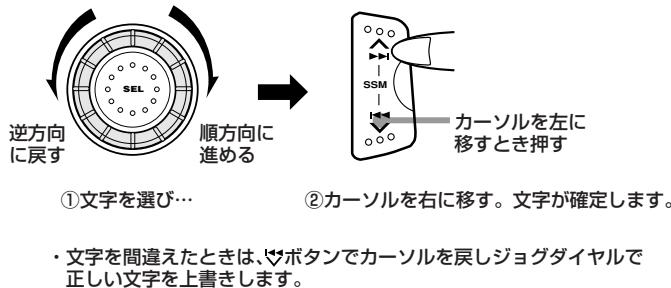
3 DISPで文字の種類を選ぶ



- 押すごとに変わります。

詳しくは49ページの「文字配列表」参照

4 ジョグダイヤル→△で名前を入力する



5 SELを押して確定する



- 文字を消したいときは、4の操作のとき空白(スペース)を選び確定します。
- 全て空白(スペース)を入力すると、名前を消すことができます。また△ボタンと△ボタンを同時に押ししたときも表示を消すことができます。SELボタンを押して確定すると名前を消すことができます。

〈お知らせ〉

- 41枚目のCD名または33局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。使用しない名前は消してください。

文字配列表

ディスク名や放送局名を表示させるには

CDや放送を聞いているときディスク名や放送局名を表示させるときは、DISPボタンを使います。入力した名前が表示されます。

- CD/CDチェンジャーのとき：



- 押すごとに
変わります。

曲番号と演奏経過時間表示



ディスク名 : スクロール表示されます

(DISPボタンを1秒以上押したとき)
(もスクロール表示されます)

- ラジオのとき：

バンドと受信周波数表示



放送局名表示

● カナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	
ー	。	｀	(空白)						

● 英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

● 英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

● 記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	"	#	\$	%	¤	,	()	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

〈お知らせ〉

- 放送局名の中で・(中黒)とα(アルファ)は、入力できません。

正しくお使いいただくために

- 本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型バスなどの24V車には使用できません。
- スピーカーはアンプの出力(フロント/リア40W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4～8Ωのものをお使いください。
- 次のような場所は避けて取り付けてください。
 - ・直射日光の当たる所など、温度が極端に高くなる場所
 - ・雨がかかる所
 - ・ほこりの多い所

● 安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくになります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

● 車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDやMDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。

(使用温度範囲：0℃～+40℃)

- 背面のファンは、通常は回転しておりません。本機内部の温度が高くなると、自動で回転します。
- バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

● 結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してMDまたはCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

● 外国での使用は…

本機は日本国内用です。外国での使用はできません。

● スピーカーコードの接続について

本機はBTL^{ビーティーエル}*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別紙の取扱説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの△側が車の金属部に接続されていたり、○側同士が接続されていると故障の原因となります。

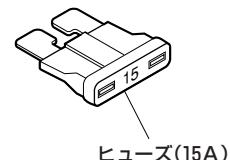
BALANCED TRANSFORMERLESS
*BTL : Balanced Transformerlessの略

2組でパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

● ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



保証書とアフターサービス

●保証書の記載内容ご確認と保存について

この製品には、保証書が添付されております。

保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理致します。

その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。

●補修用性能部品の保有期間にについて

当社はこのカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。

この期間は通産省の指導によるものです。

●アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店、または添付の「サービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

1. まずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、再度お調べください。

2. それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

・JVC MD/CDレシーバー：KW-MZ63DA

・お名前とおところ

・電話番号

・故障の状態(詳しく)：例 CDの演奏音が出ない。

別売りアクセサリー

・クリーニングキット：CK-25(CD用)

・MDレンズクリーナー：CL-ML

・RCA PINコード：CN-505E(長さ0.5m)

CN-510E(長さ1m)

CN-520E(長さ2m)

・変換コード：KS-U57

・リモコン：RM-RK36

こんなときは

—「故障かな?」と思ったら…—

修理を依頼される前に、まず次の項目をお確かめください。

それでも直らないときは故障によることが考えられますので、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	・ 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作しているため。	・ リセットボタンを押して内蔵のマイコンをリセットする。→ 13 ページ参照 (時計や放送局などのメモリーが取り消され、初期状態に戻ります)
▲(MD取出し)ボタンまたは▲(CD取出し)ボタンを押してもMDまたはCDの取り出しができない。	・ 盗難防止状態になっている。 → 39 ページ参照	・ MDの場合 MDボタンを押したまま ▲(MD取出し)ボタンを同時に 2 秒以上押す。 ・ CDの場合 CDボタンを押したまま ▲(CD取出し)ボタンを同時に 2 秒以上押す。 「EJECT OK」が表示されMDまたはCDの取り出しができます。
CDの演奏が始まらない。	・ CDが裏返しになっている。	・ 文字のある面が上になるように正しく入れる。
	・ 内部のレンズが結露している。	・ 電源を入れたまま約 1 ~ 2 時間待つ。
AM放送がうまく受信できない。	・ オートアンテナのコントロール電流が 250mA を超えている。	・ [リモート出力]コードをオートアンテナに接続するように変更する。→ 33 ページ参照
	・ オートアンテナコントロール端子(またはアンテナアンプ電源端子)に[オートアンテナ]コードが接続されていない。	・ [オートアンテナ]コードを接続する。 → 33 ページ参照

症 状	原 因	処 置
「DISC ERROR」が表示される。	・ MDまたはCDの読み取りでエラーが発生したため。	・ ▲(MD取出し)ボタンまたは▲(CD取出し)ボタンを押したあとMDまたはCDを入れ直す。
「BLANK DISC」が表示されMDが出てくる。	・ 録音していないMDを入れたため。	・ 録音済みのMDと交換する。
「NO CD DISC」または「NO MD DISC」が表示される。	・ CDまたはMDが入っていないときMDボタンまたはCDボタンを押したため。	・ CDまたはMDを入れる。
「NO NAME」が表示される。	・ 名前が登録されていないときDISPボタンを押したため。	・ 名前を登録する。 → 42 ~ 48 ページ参照
「HIGH TEMP」が表示される。	・ 本機の内部の温度が異常に高くなっている。	・ FM放送などに切換え、温度が下がるまで待つ。
「NO PRE ADJ.」が表示される。	・ 雑音などの影響でプリセットデータに異常が発生している。	・ お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。
ディスクの出し入れのとき、音が途切れる。	・ ディスクの出し入れのときは、音声にミューティングをかけ雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。	

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- 信号読み取り方式：非接触光学式読み取り
(半導体レーザー、 $\lambda = 780\text{nm}$ 使用)
- エラー訂正方式：クロスインタリーブリードソロモンコード
- チャンネル数：2チャンネル
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：99dB
- ワウ・フランジャー：測定限界以下

MDプレーヤー部

- 型 式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
- 信号読み取り方式：非接触光学式読み取り
(半導体レーザー、 $\lambda = 780\text{nm}$ 使用)
- サンプリング周波数：44.1kHz
- 音声圧縮方式：ATRAC
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：20Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：88dB
- S N 比：93dB
- ワウ・フランジャー：測定限界以下

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
オートアンテナコントロール電源コード付
- FMチューナー部
- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf(1.43μV/75Ω)
- AMチューナー部
- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実用感度：27dBμ(22.4μV)

デジタル シグナル プロセッサー部

- メーカープリセットモード：アリーナ、チャーチ、シアター、ディスコ、ライブオペラ、カラオケ
- フォーカス：全席モード/運転席モード/助手席モード/前席モード

オーディオアンプ部

- 最 大 出 力：フロント/リア 40W+40W(4 Ω、1 kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω(4 Ω～8 Ωで使用可能)
- 入 力 端 子：DINジャック(8ピン)×1、CDチェンジャー
(またはカーアV機器)接続用1.5V/20kΩ
- 出 力 端 子：RCA端子(2系統)、2.0V/1 kΩ
スピーカーコード(2系統、ギボシ型)

電源部・その他

- 電 源 電 圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 時 刻 表 示：12時間表示法
- 外 形 尺 法：幅178mm×高さ100mm×奥行163mm
- 質 量：約2.5kg(付属品含まず)

付属品

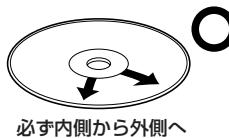
・接続コード*(16ピンコネクター).....	1
・ネジ(M 5 × 6 mm)	8
・皿ネジ(M 5 × 6 mm)	8
・マウンティングプレート.....	1

- 本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

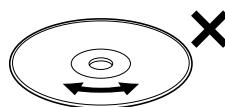
お手入れ

CD(コンパクトディスク)のお手入れ

本機に入る前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因になります。

- ・シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

本機の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などでからぶきしてください。
汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

ご注意

- ・シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



製造元



日本ビクター株式会社

お問い合わせ先

モビールエレクトロニクス事業部

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎ ダイヤルイン (027) 254-8926

発売元

 **AUTOBACS**
オートバックスセブン

カーエレクトロニクス部

〒108-8307 東京都港区三田3-13-16
(三田43森ビル)

☎ (03) 3454-0942